

令和6年5月10日

宮古市国民健康保険
第3期データヘルス計画（令和6年度～令和11年度）
の策定について

宮 古 市

1. 計画の概要

「高齢者の医療の確保に関する法律」の規定に基づき策定するものです。各医療保険者において策定することとなっており、国保被保険者のための保健事業計画を策定するものです。国民健康保険特定健診等実施計画と一体的に策定します。

- 宮古市総合計画の部門別計画に位置付けられるものです。
- いきいき健康みやこ 21 プランの基本理念である「生涯を通じて、みんながいきいき健康に暮らすまち」を共通理念とするものです。

H20.2	第1期特定健診等実施計画策定
H25.2	第2期特定健診等実施計画策定
H27.11	第1期データヘルス計画策定
H30.11	第2期データヘルス計画・ 第3期特定健診等実施計画策定 ※一体的に策定・実施
R6～	第3期データヘルス計画・ 第4期特定健診等計画策定

2. 第3期データヘルス計画の特徴について

第3期計画においても、健康課題を確認し、優先的に取り組む事業を整理します。**第2期計画において、目標を達成できなかった事業の目標値の再設定と手法を見直します。**

なお、計画案作成においては、厚生労働省の計画作成の手引きに基づき、岩手県健康国保課及び岩手県国保連合会提供の共通様式・国保データベース(KDB)を活用します。計画内容については、健康課と共同で作成ののち、国保連合会設置の医師等有識者からなる保健事業支援・評価委員会から助言をいただいています。

3. 計画の主な実績の推移と課題の整理

第2期計画においては、特定健診受診率は、ほとんど変化がないものの、特定保健指導は手法を見直し、保健指導の実施率は向上しました。ただしメタボ予備軍・該当者率の減少までには至っていません。医療費においては、被保険者数の減少から、全体の医療費は減少傾向で、伸びてはいませんが、全国平均と比較すると循環器関連の医療費は高い状況にあります。生活習慣病の重症化予防のため、早期発見・治療が重要です。なお、主な事業実績と第3期の目標値は次の表のとおりです。

特定健康診査受診率の向上

		第2期計画(H30～R5)						第3期計画(R6～R11)						第3期計画 の方向性	優先 課題
		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11		
特定健康診査 受診率	目標	44%	47%	50%	53%	56%	60%	46%	48%	51%	54%	57%	60%	継続実施	A
	実績	40.7%	39.1%	38.4%	38.8%	39.2%									

特定保健指導実施率の向上

		第2期計画(H30～R5)						第3期計画(R6～R11)						第3期計画 の方向性	優先 課題
		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11		
特定保健指導 実施率	目標	17%	22%	27%	32%	37%	45%	67.5%	68.0%	68.5%	69.0%	69.5%	70.0%	目標達成のため指 標追加し継続実施	B
	実績	14.9%	19.3%	45.8%	54.8%	67.2%									
特定保健指導 対象者の改善率	目標							20%	22%	24%	26%	28%	30%		
	実績					19.4%									

メタボリックシンドローム予備軍・該当者率の減少

		第2期計画(H30～R5)						第3期計画(R6～R11)						第3期計画 の方向性	優先 課題
		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11		
メタボリックシンドローム 予備軍・該当者率	目標	27%	26%	25%	24%	22%	20%	29.5%	29.1%	28.7%	28.3%	27.9%	27.5%	目標値見直し 継続実施	B
	実績	29.1%	27.8%	30.6%	30.4%	29.9%									

特定健康診査受診者への事後指導

		第2期計画(H30～R5)						第3期計画(R6～R11)						第3期計画 の方向性	優先 課題
		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11		
要受診対象者の医療 機関受診率	目標	80%	84%	88%	92%	96%	100%	75%	80%	85%	90%	95%	100%	継続実施	C
	実績	77.1%	73.5%	77.3%	75.5%	70.5%									

国保被保険者の一人当たり医療費の減少

		第2期計画(H30～R5)						第3期計画(R6～R11)						第3期計画 の方向性	優先 課題
		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11		
一人当たり医療費	目標	422千円	433千円	442千円	448千円	453千円	453千円							評価事業終了	-
	実績	424千円	417千円	423千円	417千円	414千円									

医療費適正化の取組み

		第2期計画(H30～R5)						第3期計画(R6～R11)						第3期計画 の方向性	優先 課題
		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11		
後発医薬品使用 促進・数量シェア	目標	75%	76%	77%	78%	79%	80%							評価事業終了	-
	実績	77.9%	79.9%	82.0%	82.9%	83.8%									
重複・頻回受診者訪 問指導対象者割合	目標	2.1%	2.0%	1.9%	1.8%	1.7%	1.6%	3.0%	2.7%	2.4%	2.1%	1.8%	1.6%	継続実施	D
	実績	3.56%	2.63%	2.73%	2.47%	3.20%									

4. 優先的に取り組む課題と主な保健事業

第2期計画の振り返りから、優先的に取り組むべき課題を設定し、評価指標を見直し、以下4つの保健事業を実施します。

【A】 全体的な特定健康診査受診率と若年層受診率の向上のための取組が必要です。

特定健診の受診率を 60%まで向上させます。(特定健診事業)

【B】 メタボリックシンドロームを改善し、生活習慣病を予防するため特定保健指導が必要です。

特定保健指導実施率を 70%まで向上させ、メタボ予備軍・該当者率を 27.5%まで減少させます。(特定保健指導事業)

【C】 生活習慣の改善が必要な人の割合が高く、生活習慣病重症化のリスクが高いです。

生活習慣病の重症化予防として、要受診対象者の医療機関受診率 100%を目指します。(特定健診事後指導)

【D】 重複・頻回受診者の医療費の適正化が必要です。

重複・頻回受診者へ訪問指導し、訪問指導対象者の割合を 1.6%まで減少させます。(訪問指導事業)

5. スケジュール

令和5年 9月28日	令和5年度データヘルス計画策定・運用支援資料・共通様式公開(県課長通知・国保連作成)
10月23日	第3期国民健康保険データヘルス計画策定に関する全国説明会(オンライン)
11月 7日	データヘルス計画策定支援事業市町村担当者事前打ち合わせ会(オンライン)
11月22日	令和5年度岩手県国民健康保険団体連合会保健事業支援・評価委員会(外部有識者委員会)による助言
令和6年 1月24日	第3期データヘルス計画国保連フォローアップ(助言指導)
3月13日	計画案の協議(経営会議)
4月19日	議会説明
4月25日	計画案へのパブリックコメント(HP 上)・計画案の内容確認(関係部署)
5月10日	計画決定(運営協議会諮問・市長決裁)
	市ホームページ上で公開